

〈真剣味〉90

2018.10.27

進路選択

私は新潟江南シニアの監督に就任して5年、その間の卒業生は約50名。多くの選手は上級学校でも野球を続けるため、中学時代にすでに硬式ボールに慣れたいという気持ちもあり、シニアリーグにトライしてくれています。我がチームは週4回の練習ですが、高校では毎日の練習になります。硬式のボールには慣れていますが、毎日練習となると慣れるまで少々時間がかかるかもしれません。でもそこを慣れ、スキルアップしながら多くの選手が頑張ってくれています。できれば高校でお腹一杯にならず、もっともっと上で挑戦する強い気持ちをもって練習してもらいたい。その後、大学そして将来は企業チームでも野球を続ける人が出でると、個人的にはとても嬉しく、そして素晴らしいことだと思います。そのためには、怪我をせず、また無茶なこともしないで、一歩一歩階段を上がっていくことが必要だと思います。

私自身は時間に余裕があるので野球場に通うことが楽しみになっています。一人でも多くの選手にグラウンドで動き回ってもらいたい。高校の選択の際は最初からスタンドのレギュラーを目指すようなことはせず、グラウンドで動き回れそうな高校を選んでもいいのかなと個人的には思います。ガンバレ!!

『体格・体力の向上のため、日々の努力を続けましょう。食事・トレーニング』

我がチームのファーストユニフォームはブルーです。とても目立つ色だし、うまく着こなせたらかっこいいユニフォームです。縦しまのユニフォームもそうですが、この色のユニフォームも着こなしがとても難しいです。特に体が出来ていない細い選手が着ると少し寂しい感じになります。だからと言って体は直ぐに大きくななりません。時間はかかると思いますが、毎日のことです、日々の努力を忘れず着実に成長してもらいたい。[体を鍛える事、食べる事、今日中に眠ること(成長ホルモン)、学ぶ事]など頑張ってください。そして理屈を言ってやらねばならないことから逃げない事。ガンバレ!!

〈他のスポーツから学ぶ〉

『アメリカのゴンザガ大学でバスケットボールに挑戦しているハ村墨選手』は、全日本の選手に選ばれるくらい「スキルの高い選手」です。以前は、おとなしいために試合ではうまく自分の良さを表現できないところがあったようです。そこでコーチから「トラになれ!」と指導を受けたそうです。それは練習から強い気持ちで取り組み、同じ気持ちで試合に臨めば本人の良さを発揮できると考えたようです。確かにその指導を生かし、今は激しく・熱いプレーをして活躍しているようです。これによって周りのメンバーも良い刺激になるはずです。

我がチームにも、3年生がいる時には伸び伸びと良いバッティングをしていた選手がいます。彼は自分達が最上級生になった途端に、思い切りが悪く、らしい鋭い打球が外野に飛ぶことが少なくなっています。とても残念です。ただ、この壁をクリアーしない限り本人の成長には繋がらないはず。今が変われる時です。「見えない何かから逃げない!・ミスしても考えすぎない!恥ずかしいことだと思わない!・大きな声を出し自分自身に良い刺激を!・周りと会話をすることで心を落ち着かす!」とにかく率先して行動してもらいたい。

『ただ教わることだけやる人、復習をする人、予習までする人では身に付き方が違う。』

『自分で決めたこと、必要なことはとにかく続ける。結果は出なくとも続ける。』

『新入団練習体験』

・来年度の1年生がどれだけ入団してくれるかはチームとして、とても大切なことになります。だから一人でも多くの方にチームを知ってもらうことは大切で、そのために練習体験に多く参加していただきたいと思います。一緒に野球をやりましょう。

追伸:我が家の6年生は少年野球が終了後に新潟江南シニアに入団します。